

教育産業常任委員会会議録

日時 令和元年12月10日(火)
午前10時43分
場所 城里町役場 3階 委員会室

出席委員(7名)

委員長	菌部 一 君	副委員長	片岡 藏 之 君
	杉山 清 君		小林 祥 宏 君
	阿久津 則 男 君		加藤木 直 君
	桜井 和 子 君		

欠席委員(なし)

職務のため出席した者の職氏名

書	記	藤田 真 紀
書	記	高丸 哲 史

教育産業常任委員会次第

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶
- 3 協議事項
 - (1) 陳情第7号 国道123号線沿い(城里町那珂西)振動に関する陳情
 - (2) その他
- 4 閉 会

午前10時43分開会

開 会

○議会事務局書記（藤田真紀君） それでは、ただいまから教育産業常任委員会を開催させていただきます。

委員長挨拶

○議会事務局書記（藤田真紀君） 最初に、菌部委員長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

○委員長（菌部 一君） 委員各位におかれましては、定例会後大変お疲れの中でご出席をいただき、ご苦労さまです。

本日の会議は、陳情1件につきまして、審議をお願いするものです。

慎重なる審議と委員会運営については特段のご協力をお願いし、挨拶といたします。

○議会事務局書記（藤田真紀君） ありがとうございます。

審議事項

○議会事務局書記（藤田真紀君） ここからは菌部委員長の議事進行で会議運営をお願いいたしたいと存じます。菌部委員長、よろしく申し上げます。

○委員長（菌部 一君） それでは、会議に入ります。着座にて失礼をいたします。

それでは（1）陳情第7号 国道123号線沿い（城里町那珂西）振動に関する陳情を議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

○議会事務局書記（藤田真紀君） それでは、陳情のほうを皆さんお出しいただければと思います。

○委員長（菌部 一君） それでは、事務局よりお願いします。

○議会事務局書記（藤田真紀君） 陳情者は代表者の那珂西1区区長寺門千壽さんほか、中妻区区長小野瀬忠幸様と、那珂西2区区長西野輝道様、那珂西3区区長須藤修一様の4名の連名となっております。

陳情の趣旨のほうを読み上げます。

国道123号線沿いの下水道面陥没はなくなりましたが、大型車が下水道マンホールを踏むことでの振動がひどく、特に夜間目が覚めてしまうほどです。東日本大震災後8年が経

過していますが、いまだに振動に悩まされています。

まず第一に、振動の原因を追究していただきたい。振動計による現状把握、地質調査で地盤調査など振動原因把握後、工事等により解決していただけるようお願いします。茨城県水戸土木事務所等の調整協議も要望しますということでございます。

以上、簡単ではございますが内容の説明をいたしました。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（藺部 一君） ありがとうございます。

それでは、説明が終わりました。ここでご意見等がございましたらお受けをいたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

加藤木委員さん。

○委員（加藤木 直君） この那珂西の123沿いで、各道路にマンホールあるところがへこんでいるということですか。

○委員長（藺部 一君） へこんでいるところもあるんですが、それは多分暫時直されてはいるんですよ。ただ、やはりスピード出してくるとか、そういうことで振動がするんだろうと思うんですよ。

○委員（加藤木 直君） 結構大型車両なんかだと、やっぱり沈んだりしちゃって、結構大きな音がしているというのは聞いているんですけども、これ、もし直す場合って、例えば直して平らにする場合というのは、マンホールを設置したところを、例えば城里町とかがやるんですか、町が。

○委員長（藺部 一君） 多分、それが水道工事とか何かだったら、町のほうで、モルタルで周りを埋めて段差がなくなるようにして、振動を防いでいると思うんです。ただ、原因のものが、ちょっと私もわかりませんので、ここで陳情の理由の中で、マンホールの下のほうが原因か何かは、結局県土木のほうで調べていただきたいという趣旨なのかなと私は理解をしているんですけども。

○委員（加藤木 直君） 原因は、例えば東日本の震災のときとか、それと、マンホールだけじゃなくて、いろいろなところが傷んでいますよというときは、その道路を管轄しているところがやるんだと思うんですけども、マンホール自体のところは全部となると、マンホールってその場所を町が借りて、道路を借りてやっているのかなと思うんですよ。ですから、町がやるようになるのかなと思うんですけども。

○委員長（藺部 一君） そのところは県に多分お願いをして補修をしているというふうに私は感じているんですか。

○副委員長（片岡藏之君） 委員長いいですか。

○委員長（藺部 一君） はい。

○副委員長（片岡藏之君） この文面読むというと、マンホールの陥没は、要するに水道課、下水道等のあれは、要するに対応してくれて、陥没はなくなりましたということが書

いてありますよね。だから、そのほかの路盤の、要するに大型車通って。だから、路盤自体がもうあれになっているという内容の話だと思うんだけども。

○委員（加藤木 直君） だったら、土木事務所のほうなのかな、これ。県のほうなのかな。

○委員長（藺部 一君） そういうことかなとは思いますが。

すみません、じゃ、小林委員。

○委員（小林祥宏君） これは、マンホールが、何が原因でなっているというのかな、これ、ふた。

○委員長（藺部 一君） そうみたいですね。

○委員（小林祥宏君） 何か所くらいあるんだろう、これ。

○委員長（藺部 一君） そうですね、確認してみますが。

○委員（小林祥宏君） ただこれ、管理部門で、国道だから、下のあれで土木事務所等の調整協議を要望したいという文面なんだよな。町だけで、あ、そうですかと、こういうのはどうなのかなと、管理部門が余計なことできないものな。国道だからな、余り。その辺が問題だと思うんだ。

○委員長（藺部 一君） その前に、桜井さんのほうから手が上がったもので。

○委員（桜井和子君） ちょっと那珂西の道路沿いの人知り合いがいるんですけども、やっぱりマンホールがかたいからマンホールは沈まずに、やっぱり道路がへこんで、すごい周りがすごいやっぱりそこに乗るたびに、家の中のふすままでガタガタガタというし、振動があることは事実なんですよね。よく何回も言われて、少しずつやっぱり舗装はされているみたいですけども、山崎輪業さんの前までは結構。それは県とももちろん絡んでいると思うんですけども、私も繋いだことあるんで、水戸土木とかに。

○副委員長（片岡藏之君） じゃ、とりあえずこれは国道ということで、管理は多分、県の土木が肩がわりをして管理をしていたと思うんですよね。そうですね。だから、町でどうのこうのと言われても、町で手出せるものはないから、これは、都市建のほうに要望という形で県のほうに上げてもらう形しかないんじゃないかなと思うんですけども。

○委員長（藺部 一君） そうすると、副委員長の考えは、結局都市建設のほうから県のほうに、要望を上げるというふうで、この陳情の扱い方は、そのまま上げていいのか。

加藤木委員。

○委員（加藤木 直君） 今、片岡副委員長のほうのお話ありましたけれども、私も、町がその部分を負担するのか、県が負担するのとかというのは、ちょっとよくわからないんですけども、いずれにしても、県と、どこが原因でそういうふうになっているのかによって多分違うと思うんですよね。ですから、その辺のところを、都市建と県のほうでよく調整をしていただきながら、いずれにしてもこのままほったらかしにはできないと思うので、いずれにしても、これは陳情というかお願いを、県なり町にお願いをしていくとい

う形ではお願いをしたいと思います。よく調整をしていただきまして。

○委員長（藺部 一君） 阿久津さん。

○委員（阿久津則男君） 同じような意見です。要は追究してほしいという要望ですから、しかも、那珂西全部でしょう、これ。距離にすると2キロかそのくらいになるでしょう。恐らく震災後路面は直したと思うんです、1回は、震災の。それでも恐らくなっているんでしょうから、それはその原因を追究してほしいということが載っているんで、当然追究すれば原因がわかると思うので、県のほうに要望を町としてするべきだと思います。

例ですけれども、塩子のほうも、やっぱりマンホールでそれと同じような苦情があったんです。去年300メートルくらいやったんです。これ、マンホールのところだけなんですか。2メートル、3メートルやっても効き目ないですよ。すぐひげちゃったりするもので、モルタルなんかでやってもだめなんで、だから、やっぱりやるときは那珂西全部、ズーっとやり直さないと、恐らくだめだと思うんですよ。どちらにしましても、原因追及ということで、議会として要望してほしいと思います。

○委員長（藺部 一君） そのほかありますか。

杉山委員。

○委員（杉山 清君） まず、この寺門さんというのは、区長さんやっていたらしゃる。何区の区長さんですか。

○委員長（藺部 一君） これは裏に書いてあるんですが、1区です。

○委員（杉山 清君） それで、マンホールというのは、設置するときに既に構造的な問題があるんです。車の右左の両輪の間に入れれば、こういうことはなかったんですが、要するに、左側、要するに歩道側に寄って入っているものですから、ドーンという形になる。

1つは、先ほど桜井さんがコンクリートという話言われましたけれども、マンホールはコンクリートでできています。そして、ほかのところはアスファルトなんです。そうするとアスファルトというのはへこむんです。ですから、先ほども阿久津委員のほうからも言われましたけれども、一部やったんでは、本当に半年、1年でまた要するにやり直しというような状況が出ますので、やはり町と県、マンホールは町で設置してあるわけですから、やっぱりその辺が長い区間になるとどういうふうになるかというのは協議したいと思いませんけれども。

○委員長（藺部 一君） そのほかに。

小林委員。

○委員（小林祥宏君） これ簡単に壊れているからそこを直すというのじゃないから、これはちょっと簡単な問題ではないと思います。そういうふうなあれで、きちんと、振動があるからそれを何とか対応と言っても、町としてもなかなか、それだから、土木、県と一緒に、どのようにするかというのをまず協議していかなければならないんじゃないですか。その陳情が出たんだから。私はそう思います。ここで入って。簡単にはいかない

のかな、そういう点で。

○委員長（藺部 一君） 杉山さん。

○委員（杉山 清君） 那珂西はまだいいと思うんです。栗区さま来たらばすごいですよ。もう飛び上がるほど、本当に。ドーンと。私は行って夜も聞いていますけれども、一番ひどいのは大型のトレーラー。要するにダンプカーじゃない、トレーラーなんです。だから、ただ簡単に、今小林委員から言われたように、机上論だけではやらないでもらいたいです。

○委員長（藺部 一君） 副委員長。

○副委員長（片岡藏之君） ちなみに、このメインのバイパスに出る向こうの道路、ローソンから。

○委員長（藺部 一君） 新しいところ。

○副委員長（片岡藏之君） セブンイレブンの新しくなったところ、あそこまでは、散在だね、そういう話が。ようやく路盤改良して、それで今、ある程度安定しているみたいなんだけれども、よほど、そういった形でしっかりした金を使ってやってもらわないというと、この対処法はなかなか難しいと思うんで、都市建、土木と県とでやってもらうほかないかと思うんだけれども。

○委員長（藺部 一君） そのほかにございませんか。

じゃ、今のご意見の中身は、趣旨に、町のほうの建設課と県のほうによく相談していただいて、原因を究明して解決されるように、これは採択ということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藺部 一君） ありがとうございます。

その旨で採択をいたしますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、（２）のその他についてでございますが、皆様からのご意見ございましたら、よろしくお願ひしたいと思ひます。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藺部 一君） ないということで。

○委員（小林祥宏君） 委員長、１回、自動車研究所に行ったことないというから、ちょっと教育産業で、そこ１回、こういうのの中で計画しては何だなと思ひているんですが。

○委員長（藺部 一君） 小林委員さんかのほうから、貴重なご意見をいただきまして、私も議員になったばかりは、町のほうで今の自動車研究所、運転試験場のほうに行かせてもらいました。やはりふだんはなかなか個人では入れない施設なものですから、じゃ、委員会といたしましても、見学研修できるように町のほうにお願ひしていくつもりですので、そういうことによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藺部 一君） じゃ、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員（阿久津則男君）　じゃ、委員長、ついでということではないですが、せっかくですから、1カ所だけじゃなくて、それこそ1日出ていくんだから、教育産業関係するところほかにもあると思うんで、何カ所か設定していただければいいと思います。

○委員（小林祥宏君）　やっぱり現場をちゃんと把握しないと。

○委員長（藺部　一君）　そうですね。

○委員（阿久津則男君）　僕なんか所管違いますけれども、爆破訓練場1回も行ったことないですよ。相川は。

○委員長（藺部　一君）　あそこは大丈夫ですか、あれは。

○委員（阿久津則男君）　町で言えば大丈夫だと思うんだよね。

○委員長（藺部　一君）　そうですね、実際近くにあっても、あそこはちょっと行けない。

○委員（阿久津則男君）　毎年、70万、80万は入ってくるのでしょうか、お金が。所管違いますけれども。

○委員長（藺部　一君）　もしそれで通れば、もし通らなかった場合には、私も下水道関係も今回ので非常に被害を受けていまして、今すぐは無理かもしれないですが、どこにその水道の機場があるとか、杉山委員さんもよく水道については質問されていましたが、やっぱりそういうところもやっぱり、私のほうも知る必要があるのかなと思いますので、それは、運転試験場を中心に、やはり事務局のほうと相談して、計画できればと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○副委員長（片岡藏之君）　もう少し県の研究機関なんだから、もう少しこっちに仕事を持って来てもらいたいな。

○委員長（藺部　一君）　前に行ったときは、あそこは町の水道を引いてくれると言ってくれたんですが、なかなかあそこは引いていないみたいだな。

○委員（阿久津則男君）　古内でとまっちゃっているね。

○委員長（藺部　一君）　じゃ、そういう点で皆様のご意見を含めまして、前に進めます。

それでは、最後に教育産業常任委員会の閉会中の所掌事務調査についてですが、最終日の日程に入れたいと思いますが、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藺部　一君）　ありがとうございます。

閉　　会

○委員長（藺部　一君）　以上をもちまして、当委員会に付議されました案件について協議が終了いたしました。

ここで、閉会に当たりまして、片岡副委員長よりご挨拶をいただきます。

○副委員長（片岡藏之君） どうも深い慎重審議をいただきまして、本当にありがとうございます。ちょっと時間的には短かったですけれども、どうもご苦労さまでございました。

午前11時03分閉会